

## 2010年1月21日～2022年12月22日の間に 当科において肺癌の治療を受けられた方及びご家族の方へ

—「当院での StageIA1-2 期非小細胞肺癌に対する術式が次治療や予後に与える影響」  
へのご協力のお願—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学呼吸器外科学	臨床助教	杉山浩樹
研究分担者	川崎医科大学呼吸器外科学	准教授	清水克彦
	川崎医科大学呼吸器外科学	講師	最相晋輔
	川崎医科大学呼吸器外科学	講師	野島雄史
	川崎医科大学呼吸器外科学	臨床助教	松谷隆志

### 1. 研究の概要

末梢小型非小細胞肺癌において区域切除は肺葉切除と比較し全生存率で劣らないことや局所再発が多いが他病死の頻度は少ないことが示されています。その要因としては縮小手術であるため肺機能が温存され次の治療が行えるようになっているためと考えられます。

そのため楔状切除では区域切除より低侵襲であるため更なる他病死の頻度を改善できると考え、当院における StageIA1-2 の非小細胞肺癌に対する術式による次治療や予後に与える影響を検討します。

### 2. 研究の方法

#### 1) 研究対象者

2010年1月21日～2022年12月22日の間に川崎医科大学附属病院呼吸器外科において StageIA1-2 の肺癌に対して手術を受けられた方を研究対象とします。

#### 2) 研究期間

倫理委員会承認日～2026年12月31日

#### 3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において肺癌の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとにカルテのデータを選び、術式に関する分析を行い、再発や他病の予後について調べます。

#### 4) 使用する情報の種類

診療録からの情報：年齢、性別、病歴・併存疾患、治療歴、肺癌の術式、治療前の画像所見等の情報を利用します

## 5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学呼吸器外科学実験室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

## 6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2026年8月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

### <問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 呼吸器外科

氏名：杉山浩樹

電話：086-462-1111 内線 44566（平日：8時00分～18時00分）

E-mail：sugiyama.h@kawasaki-m.ac.jp

## 2. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。